

広報 なかわだ

第 342 号

2 月の予定

灰の水曜日 2月 6日
 委員会 2月 3日
 ヨゼフ会例会 2月 17日



2008 年 2 月号

中和田カトリック教会
 広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
 Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 20 年 2 月 3 日



灰の水曜日

主任司祭 小林 陽一



今年の灰の水曜日は、意外に早く、2月6日となっております。この日、夜6時からの灰の水曜日のミサ中、灰の式があります。説教後、司式者は灰の祝福をして、すぐ、出席している一人ひとりの頭か額に灰をかけ、「あなたは塵であり、塵に帰っていくのです」と唱えます。「回心して福音を信じなさい」と唱える場合もあります。

教会は、灰をかける式を行うことによって、私たちが土から出て、土に帰ることを自覚し、へりくだって罪のつぐないを行うよう求めます。

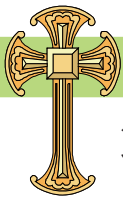
この日、20歳から60歳未満の信者は、大齋と小齋を守る義務があります。大齋は、一日のうち一回の食事は十分に摂ることができますが、他の二回の食事は、食べる量を減らして、少ない食事をする事となります。小齋は、この日一日、獣肉を食べないこと。

信仰生活は、体験することによって、大事なことがわかってまいります。灰の水曜日には思い切って大齋・小齋に取り組んでまいりましょう。そして、復活祭（3月23日）までの四旬節の間、節制に努めましょう。

典礼こよみ（2月）



日 曜	ミサ・勉強会	備 考
1 金	初金ミサ (10時より)	掃除 1 G (ミサ後)
2 土	主の奉献祝日 ミサ (18時より)	
3 日	年間第三主日 主日ミサ (9時より)	教会委員会 (ミサ後)
5 火	日本 26 聖人殉教者祝日ミサ (10時より)	
6 水	灰の水曜日 聖書勉強会 (10時)・灰の水曜日ミサ (18時)	
9 土	ミサ (18時より)	掃除 2 G (9時30分)
10 日	四旬節第一主日 主日ミサ (9時より)	典礼委員会 (ミサ後)
13 水	聖書勉強会 (10時より)	
16 土		掃除 3 G (9時30分)
17 日	四旬節第二主日 主日ミサ (9時より)	
20 水	聖書勉強会 (10時より)	
23 土		掃除 4 G (9時30分)
24 日	四旬節第三主日 子どもと共に捧げるミサ (9時より)	愛の献金・教会建物を考える会
27 水	聖書勉強会 (10時より)	



「心うつ その一言を探し求めて」

第16回湘南短期キリスト教セミナーにそれを尋ねる (その2)

竹内 広治

開ロー番のご挨拶「皆さん方、よーくご存じの新谷さん、そしてお歌が上手でお綺麗な山本さん、遂にこの私の番になりまして、さぞやガツカリなされたことでしょう・・・」お顔付きやお身体は、がっしりとして逞しく、全身これ鋼の塊りを思わせる第一印象。けれどもその笑顔とお目めがとても優しく、次々と飛び出る言葉はユーモアに溢れ、ついに一秒たりとて聞き手を飽きさせない。久しぶりに一流の人の話が聞けるとすると、何かゾクゾクして来て次の言葉が待ち遠しい。

神父様は始めにご自分の生い立ちをお話になりました。浄土真宗の僧侶である父親とのいさかい(昭和20年米軍の空襲によって愛する家族を失い、折から他出中であった父親を、悲しみの反動の勢いで激しく責めなじる)・・・以後お定まりの父との対立そして暴行家庭内暴力のはしりだったと神父様はしみじみ告白なさいました。やがて月日が二人を離します。大学生の頃、結婚を真面目に考える位の女性が現れます。誘われるまま女性が通う教会を訪れます。キリスト教の何であるかも知らぬまま、運命のカトリック教会に足を踏み入れました。求めるものは、その女性との結婚しかなかったのですけれどもね。

いま聖職の身でありながら、この様なお話しをなされるのはギリギリ一杯かな? 何う方も何か心配になりそうな気配濃厚ですが…文章に書き表すとその様に固まりますが、神父様のお話しぶりは、淡々としてさり気なく、ユーモアが一杯でこぼれそうです。参加者がこんなに笑い転げる講演を聴いたのは初めてでした。メモをとることを忘れるほど笑いの連続、お話のポイントを思い出すのに一苦労しています。

現世的な結婚は諦め、キリストの花嫁になるため1960年司祭叙階。以後、学校や教会で司牧に従事され、1980年感動のカンボジア難民支援に関わられ、いろいろご苦労があって、現地に小学校14校を、カンボジアの養子の背中を押しながら建設されました。

今回の講演の主題であるカンボジアとの接点は、1975年同国の急進的共産化を図るポルポト派による、国民大量虐殺事件の発生が多く難民を生み、一人の少年難民の来日が、神父の心を激しく揺さぶり、14人の少年少女を引き取り寝食を共にする生活が始まりました。いわゆる子連れ神父の誕生、その後の子ども達への躰け等のお話は、実の親より深い愛情がなければ、とてもたち行かないぎりぎりの生き方を伺って感銘深いものがありました。神父としての務めを果たすとき、さすがに子連れではいい顔はされず、売名的なのだとかの中傷も幾つかありましたが、神のお導きのお陰でどうやら、子連れホームレスにならずに過ごせたことを感謝していると、なにやら楽しげに語られます。

子ども達の成長を見つめつつの幾年、娘の結婚話に一喜一憂するこの頃、親として父として己を振り返る時、断絶していた老いた父、僧侶をいまだ続けている父、長い縫れを神はいつ解かれるのでしょうか。その日はついに別れを伴いやって来ました。父の臨終です。神父様はカトリック司祭として、臨終の父親にながきにわたった不孝を詫び、愛と威厳をもって洗礼を施されたそうです。

人生には幾つかの確執や抵抗がありますが、その代わり幸せや喜びも生まれて来ることを知りました。神父様の講演はまさに佳境に入りました。名残惜しいお別れのお時間が迫っております。神父様いいお話有り難うございました。いつまでもお元気で・・・

(『その1』は2008年1月号に掲載)



第5地区福祉懇談会に参加して

福祉委員 山本 照子

1月20日(日)の午後、第5地区福祉懇談会が片瀬教会で開催され、行ってまいりました。みなさんのお話を聞いて、藤沢教会は人数も場所柄もあり少し違うと思いましたが、他の教会は中和田教会とはそんなに変わりはないと思いますのに、福祉活動はいろいろとされているように感じました。あちこちへの物的支援、金銭的支援や福祉バザーの実施、会場を提供してのコンサートの開催などによる売上金の寄付など、いろいろと報告されていました。

他の教会と比べるとは無理はあると思いますが、今回の話し合いにも出てきたのですが、話し合いだけの集まりではなく、第5地区での横のつながりももちながら、中和田では何が出来るのか、協力し合えることはないのか・・・など今後考えていきたいと思いました。



教会建物を訪ねて 鶴田 恒之

教会の建物の形状は何時ごろからか 正面に階段、4段か5段の階段をのぼり、高さ2メートルより高い扉、その上丸窓に十字の枠。昔からの形を保ちフラットの入り口の教会は少ない。軽井沢教会の様に道路とほとんど差がない建物は少なく、数段上がって建物の入り口にと言う教会が多い。

1935 年ごろ 記憶にある本所教会も数段の階段、入ると障子、右手に長い廊下、南側に日差しが差していた。この



カトリック本所教会

建物は昭和 20 年空襲で消失。今の建物に 26、7 年ごろ建て替えられたが、形状は昔の面影があり、左右に植えられた木も以前のままの様に思う。

昔の吉祥寺教会は以前アルペルト ホームと言い聖堂内は障子、畳があり、聖体拝領の策はなく、ミサ答えの子は膝まづき足がしびれることはなく、冬は寒く夏は暑かった。この教会は外側に十字架もなく、周りは木々に覆われ、外の道路からは見えない。ご復活のタマゴは庭に隠され、子供たちはミサのあと探し出して大騒ぎ。秋になってタマゴやお菓子などが見つかる事もあった。

天井は記憶にないが、船底型が多く、聖歌が反響しない様に高く、其のことによって圧迫感をなく開放的な感じを出していると感じる。又落ち着く様全体的に暗く、正面に窓がない場合照明などによって十字架を照らし、荘厳な感じをだし、信徒に静寂を求めている様である。

教会の建物が新しく建て替えられる際、バリアフリーにし、車椅子で入れる様に中和田教会は画期的であり、スロープはすばらしいと思う。

三河島教会は一階部分は幼稚園、二階か聖堂で階段を上る途中 90 度に曲がり、踊り場。葬儀の時などを考えると想像に難く大変と言うほかない。真後ろにパイプオルガンを配し、奥行きがあり、厳粛な気持ちにさせられる。

坂を上ると木立の中にザビエルの真つ黒な像があり、右手階段 6、7 段を上り、旧聖堂に大きな扉、さらに扉があり奥行きもあり天井も高いこの田園調布の教会は、古い建物は普段使われず、入って右奥に新しく建てられ、正面から扇形にし、要に当たるところに十字架、右手に説教台。段差がなく司祭の顔、声が通る様天井が低く作られ、非常に明るい。

中和田教会の今後の改装、改築を考えると、多くの教会を観察することも役立つものと思われる。



要理学校だより

今年度より子供たちの勉強や活動内容を幅広く皆様に知っていただけるよう、広報に要理学校だよりを掲載させていただくことになりました。また今年度から中高生会ができ、小学生・幼児グループと分かれて活動することになりましたが、横のつながりはもちろんのこと、たてのつながりも深めて、皆で仲良く楽しい要理学校にできたらと思っています。皆様には今まで以上に暖かい目で見守っていただき、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

1月20日 親の集い (9名出席)

1. リーダー紹介
代表リーダー:岩淵 副リーダー:美底(典礼)、森脇(行事) 会計:萱場 書記:石井(洋)
2. 2008年度 要理学校目標と活動日、及び年間計画について
 - ・「御ミサを大切に、積極的に預かろう！」
 - ・2月より要理学校の活動日を第3、第4日曜に変更(第4は子供ミサ)
 - ・1月の活動報告
1/6 ツリーの片付け・マリアシャトーの掃除
1/20 子供ミサ・勉強「灰の水曜日ってなに？」
お話:小林神父様・聖歌の練習
 - ・2月の予定
2/17「種まきのたとえ話」 2/24 子供ミサ・芋の植え付け(雨天延期)
 - ・侍者及び各典礼当番表の確認
3. その他
 - ・今年度より中高生会を別途立ち上げ、幼児、小学生と別活動になりますが、時間の許す限り典礼、行事ともできるだけ中高生に参加、協力をお願いします。
 - ・グループ学習については、1、2年生は初聖体グループとしてカリキュラムを組み勉強を行なっていく予定。他の学年と幼児と一緒に勉強する。但し幼児グループについては別活動もあり。
 - ・親の仕事分担について
典礼: 美底、谷、星川、保科、岩淵
行事: 森脇、三觜、石井(洋)、石井(奈)、石崎、萱場、フィンリー、ブーティドン、ブチコン
 - ・今年度、視聴機器の予算が認められ、ビデオやDVDを使った勉強も視野に入れる。
 - ・要理学校と大人の聖歌の集いを今後考えていく。
 - ・ベトナムの方たちにミサで歌える母国の聖歌を捜して欲しいと依頼する。

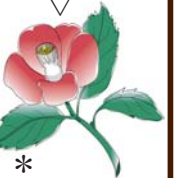
第3日曜日の要理の勉強で子供たちが聖歌の練習をします。大人の方でお時間のある方は是非ご参加下さい。



サンチャゴ 巡礼の岡に立つ十字架

委員会だより

△1月6日(日)11名出席▽
小林主任司祭あいさつ



にご協力して頂ける方を募集した結果を事務Gがまとめ提案した。《委員会審議結果》は左記の通り。

◆メンバー構成

- *中和田教会一粒会役員決定(任期08・1・15・09・12・31)
- ◆一粒会、小教区委員・竹内廣治様
- ◆一粒会、会計・上野明子様
- *12・16横浜司教館に報告済み。
- *「N・R・C日本鉄道カトリックの会」にて1月19日(土)11時30分より「山崎師追悼ミサ」を実施。

*中和田教会は立場駅より至近距離にあるが、道路が狭く複雑であり、初めて来られる方が困っている。大船教会や磯子教会等では、入口付近の道路に「教会の案内板」や「教会の照明施設」が設置されている。検討をお願いしたい。

■行事予定

- *2月6日(水)18時 灰の水曜日ミサ
- *黙想会・共同回心式予定について
- ◆3月8日(土)目標に、小林神父様中心に黙想会指導司祭を依頼。
- 《委員会審議結果》4名の司祭を候補に、日時・指導テーマを依頼。決定次第皆様にお知らせする。

■審議事項

a. 信徒大会運営について

(a) 大会資料

年間行事実績・計画、決算報告(会計監査)・予算につき審議、確定。

(b) 大会次第

《神父様ご指導》信徒の中には、「日頃ご苦労されている教会役員がどなたか分からない」方もいらっしゃるの、顔と名前が一致するように、メンバー紹介してほしい。

b. 「教会建物を考える会」と「愛の献金を考える会」発足について
07・11・18にこの二つの「考える会」

にご協力して頂ける方を募集した結果を事務Gがまとめ提案した。《委員会審議結果》は左記の通り。

◆メンバー構成

- *「愛の献金を考える会」・小野委員長を座長に、公募メンバーの石川雅子様・石井悠子様、山本福祉委員・竹内宣教委員、井上宣教委員。
- ◆「教会建物を考える会」・福島副委員長を座長に、公募メンバーの鶴田恒之様・上野厚様、そして甲斐財務委員、山田財務委員・事務Gメンバー(下村・小山(恭)・花坂)

*活動予定
◆2月24日 両会の発足式。
◆6月度教会委員会への「進捗報告」を目標に、審議を進める。

◆各グループ連絡・報告事項
a. 営繕G..07年建物修繕工事実績・08年建物修繕工事計画発表・審議(詳細は信徒大会で報告。)

b. 典礼G..横浜教区春期典礼研修の募集を行う。聖週間の奉仕者のご協力をお願いします。

c. 行事G..12月15日濱田神父様歓迎会・12月24日クリスマスパーティーの報告。ご協力ありがとうございます。

d. 宣教G..08年要理学校活動体制

(a) 要理学校の位置付け

中高生グループを立ち上げ、中高生会の代表は井上氏、幼児・小学生の要理学校の代表は岩淵さん。

(b) 子供とともに捧げるミサ開催日の変更.. 従来第三日曜日を「子供とともに捧げるミサ」として来たが、要理学校活動を生徒が集まり易い第三週と第四週に行うことに伴い、「子供とともに捧げるミサ」を第四週日曜日に変更したい。

(c) 教育教材の購入.. DVDやビデオを教材とした教育を取り入れたい、そのための設備機材を充実

させてほしい。

《委員会審議結果》

*「子供とともに捧げるミサ開催日の変更」を了承し、周知する。

*「教育教材の購入」については、必要なものは予算に計上。教会としても教育教材は強化したい。

e. 福祉G..12月20日より「毛布を送る奉仕」を始めた。皆様の更なるご協力をお願いします。

f. 事務G..月間行事予定を玄関ホワイトボードに記載しているが、各Gからの情報が反映されていないこともある。皆で確認できるように「典礼こよみ」を作成し、提案した。

《委員会審議結果》毎月事務Gが「典礼こよみ」を委員会に提案、各Gの確認を頂き、次週の典礼委員会にて確定。結果を、事務Gが玄関ホワイトボードに記載。また、広報Gで「広報なかわだ」に掲載する。

08年1月委員会後記 小野委員長

1月27日に恒例の中和田教会信徒大会が開催され、多くの皆様のご出席を頂きました。本場において頂いた課題提起やご意見、ご質問はこれからの教会運営の改善に向けて検討を進めさせて頂きます。皆様ご認識の通り、教区や小教区の運営は、司祭・修道者・信徒の三位一体型の運営に移行しつつあり、加えて小教区間の交流もいろいろな場を通して活発になって来ております。教会の運営は当然ながら神父様や教会委員に任せておくものではなく、信徒各位全員のご参画が必要です。新年度に向けて、信徒各位の一層のご参画を

切にお願い申し上げます。

◆「案内の通り、『愛の献金を考える会』と『教会建物を考える会』が発足します。いずれも、これからの教会の運営に大切な事項に関する話合いの場です。まだ登録頂いていなくても結構ですので、多く皆様のご参加をお願い申し上げます。自由で闊達なお話し合いを通して、信徒全体の総意が提案として纏まることを願っております。

■信徒大会で説明の通り、中高生のメンバーが多くなったことを受けて本年度は要理学校から発展的に中高生グループが独立して、

▼要理学校(幼児、小学生):
代表 岩淵洋子様

▼中高生会: 代表 井上昭男様
の体制で臨むこととなりました。教会全体でバックアップしてさらに盛り上げていくよう、信徒各位のご支援をお願い申し上げます。

お知らせ

転出 二俣川教会へ

成毛亨さん 2008. 1. 23

お礼

沢山の毛布のご提供ありがとうございました。アフリカへ7枚、旅路の8枚を送らせていただきました。今後、年間を通して集めていきますので、よろしくお願いたします。(福祉グループ)

